

Fukushima Tech Create 地域未来実現プログラム

募集要領

(2020/7/10)

I. 趣旨目的：

福島イノベーション・コースト構想を推進する浜通り地域等15市町村(以下、「イノベ地域」という)における、「社会・地域課題」をテーマとして、新たな解決シーズとそれを有する企業等を全国から集め、5カ月のプログラムを通じて、イノベ地域の目指す未来に繋がる実証実験・解決シーズの実装を目指す事を目的とする

II. 募集要件：

- 以下の事業テーマに、当プログラム内事業プランの内容が関連している事
(ア) Safe Town 安心安全な町：A) 廃炉・B)防災/減災・C)環境/エネルギー
(イ) Family Town 家族の笑顔の町：A) 教育、B)医療/介護、C)暮らし
(ウ) Innovation Town 地域産業の町：A)担い手育成/獲得、B) 農林漁業、C)DX/オープンイノベーション
- イノベ地域に既に立地している、または、同地域に根差し将来的なビジネス展開を行う意思を有する企業・団体・個人であること（プログラム期間内における主たる活動地域が、イノベ地域内で有ることまでは求めない）
- 地域復興実用化開発等促進事業費補助金を、本プログラム中に採択を受けていない、又は採択を受けている事業テーマと本プログラムでの事業テーマが重複していないこと
- 期間中の全てのプログラム（ワークショップ・現地視察）への参加が可能であること
- 暴力団、暴力団員、暴力団関係企業、その他これらに準ずる者 暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者（以下これらを「暴力団員等」という。）に該当しないこと及び次の項目のいずれにも該当しないもの
(ア) 暴力団員等が経営を支配していると認められる関係を有すること
(イ) 暴力団員等が経営に実質的に関与していると認められる関係を有すること
(ウ) 自己、自社もしくは第三者の不正の利益を図る目的または第三者に損害を加える目的をもってするなど、不当に暴力団員等を利用していると認められる関係を有すること
(エ) 暴力団員等に対して資金等を提供し、または便宜を供与するなどの関与をして暴力団員等に対して資金等を提供し、または便宜を供与するなどの関与をしていると認められる関係を有すること
(オ) 役員または経営に実質的に関与している者が暴力団員等と社会的に非難される役員または経営に実質的に関与している者が暴力団員等と社会的に非難されるべき関係を有すること

III. 支援数：10者程度

IV. プログラム期間：2020年9月上旬～2021年1月29日

V. 評価の観点：

支援先として決定するにあたっては、イノベ地域と連携した活動意欲、計画（構想）の実現可能性、シーズ・事業・課題解決方法などの新規性、社会的なインパクトなどにより総合的に判断します

VI. プログラム内容：

1. イノベ地域の事業パートナー（自治体・金融機関・地域企業・スタートアップ企業・個人等）とのマッチング支援
2. 専門コーディネーターによる、隔週程度のメンタリング等を通じた伴走サポート（事業計画ブラッシュアップ・パートナーとの商談折衝・進捗管理・課題整理・専門アドバイス等）
3. 地域課題理解とパートナー候補との面談を目的とした、イノベ地域現地視察（20年9-10月・2-3日程度）※原則、各社実費負担
4. 事業プランのブラッシュアップや効果的な制度活用を目的とした、ワークショップ（20年11-12月・各回2時間×計2回程度・東京都内開催予定）
5. プログラムの成果発信や各社のPRを目的とした、デモデー（成果発信イベント）の実施
6. 本プログラムHP・情報発信を通じた、各社・事業プランのPR
7. 各者当たり最大1000万円の助成金（イノベーション創出支援助成金）への申請・応募資格の獲得（添付「イノベーション創出支援助成金要項」ご参照）